

プログラム

【午前の部】 1F 講座室

■ 基調講演 中本正一郎(沖縄高専教授)

小出裕章(京大原子炉実験所助教・映像出演)

～私はなぜ原発に反対するか～

■ 報告

矢ゲ崎克馬(前琉球大学理学部教授)

～内部被曝の実態～

加納誠(前山口東京理科大学工学部教授)

～3月12日という日は～

【午後の部】 2F 講堂

■ 音楽とパフォーマンス「海に還った魂たちへ……」

出演者：池辺幸恵(pf)、川崎達(vc)、富田互(cl)、上地恵里紗(二胡)

作画パフォーマンス：増山麗奈 他 詩朗読詩：うらいちら

朗読：上地恵里紗 音楽演出・演奏：ジョージ ショウ

■ 報告(私の体験と現実)

森とうこ(NGOやんばる共生プロジェクト) 竹野内真理(翻訳家)

■ シンポジウム「沖縄はどう変わりたいか…その未来像」

川満信一(詩人) 仲里効(評論家) 高良勉(詩人) 大石敏広(哲学者)

中本正一郎(科学者) 森とうこ(医師) 龍野愛(子どもを放射能から守る会おきなわ代表)

未曾有の災害、事故が起こった。3.11大地震である。さらに津波であり、東電、政府の狼狽による被害の拡大である。さらに加えてメディアによるミスインフォメーション(偽情報の放送)や恣意的と思わせるほどのミスリーディング(情報操作による誘導)等々である。炉心融解など原発現場で発生している事実の隠ぺいは、この国のお家芸だったのかと陰鬱になります。先般行われた第二回国際環境問題シンポジウムに参加した環境物理学専攻の研究者の中の1人は、3月12日にはすでに、この炉心融解を危惧していました。多くの良心的な物理学者たちは同じような予測をしていたのではないかとおもいます。しかし、彼らの勇気ある一握りの少数の学者を除いた大多数が口をつぐまざるを得ないこの状況は何故なのか。この原発発災が国民にどのような心理作用を及ぼし、その副産物として沖縄にどのような影響がふりそそいでくるか、いまのところ誰にもわかりません。また震災難民を生み出した原発やその責任者たちはこれからどういう動きをみせるのか、またぞろゾンビのように現れてくるのか。今回のフォーラム・シンポジウムではその本質をえぐり出すと同時に、これからの沖縄に軸足を置いて語ってみたいと思います。



二胡奏者 上地恵里紗

事情によりパネリスト、演目の変更になる場合もございます。ご了承下さい。

連携企画

【原発も基地もいらない～沖縄 WAPA展～】 12/3(土)～12/11(日) 7:00-18:00

場所：沖縄山城間院長谷寺内ギャラリー 入場無料

沖縄県糸満市潮平一番地 098-852-3533

参加作家：池辺幸恵、バリお、村田訓吉、増山麗奈、倉本逸馬、小澤弘邦 他

問い合わせ：増山麗奈 info@renaart.com



【命どう宝パレード in 沖縄! 原発も基地もいらない!】 12/10(土) 14:30集会。3:00パレードスタート。

国際通りでパレード!午後2時、県庁前集合。

「福島の子供を避難させよう!」バイリンガルデモ。日本語と英語で世界に訴えよう!

主催：低線量被曝者の会